

2025年 8月 1日

暑中 お見舞い申し上げます

朝早く そして夕方に 園庭の花や草、野菜、植木に 水やりをしていると、ハチも 水を求めてやってきます。ゆっくりと 遠くからでも 分かるように 飛んできてくれたらいいのですが、突然 目の前に 大きいのが 現われると、やはり びっくりします。

ハチの数は 例年よりも ずっと多く、きっと あまりにも 暑い日々に、虫たちにとっても 人間以上に 厳しい毎日—— 熱中症アラートの日々——を過ごしているのでしょう。

私の方も 息も絶えだえて、だから かえって 目の前のハチを 手で払うこともなく 静かに やり過ぎてしまいます。

同じ境遇であることを感じると、生き物同士の 急に身近さ 思えてくるのかもしれませんが、ちょっと大きめのハチで生 仲間になれそうです。

思わず 身体の奥の方から 歌が 響いてきて、口ずさんでしまいました。

「みんな みんな 生きているんだ」とも「ちなんだ」！
やなせたかせさんの詞「手のひらを太陽に」でした。

子どもたちが屋外で遊ぶのが 難しくなるほど、日本の夏は 暑くなりました。

重さやすい時間に少し散歩に出かけるなど…の工夫で、子どもたちの夏の小さな冒険や探険が失われることなく 持てることを、切に願っています。

ご家族の皆さまも 暑さ対策を十分にして、どうぞ「お元気で」お過ごし下さい。

よき 夏と なりますように！

生命体としての地球に思いを馳せながら

2025、葉月はじめの日

園長 升光 泰雄